

暮らしを vol.7 やさしくする エコな気持ち

枝廣淳子 イラスト・福々ちえ

工コ掃除でわたし磨き

いつもご自宅の掃除には何を使っていますか？「もちろん掃除機！」という方がほとんどかもしれません。でも、ときにはコンセントも電力もいらない昔ながらの道具たち、ほうきとぞうきんで掃除をしてみませんか？

実は、ほうきを使うって、とってもクリエーティブ！ 部屋のどこから掃いていくかを考えるのもいいところ。

レトロ掃除でゆるめる時間

掃除機は電気を使っていますから、できるだけ早く効率よく掃除する必要がありますが、ほうきとぞうきんなら自分のペースでゆっくりモノを移動すればいい。地球にも自分にもやさしい時間が過ごせそう。工夫しながら、手を動かし、音も楽しみながらのエコ掃除。自分も地球もゆるめられそうです。

掃除機では味わえない爽快感、

掃き出し、ギュッと固く絞ったぞうきんでキューっと拭きあげる。畳もなんだかうれしそう。

掃除機では味わえない爽快感、

音を楽しめるのもいいところ。

最近では消音タイプもある總是いうものの、「ブオオオ～！」といふ一定した掃除機の音と比べて手を使って掃除をする、ほうきとぞうきんは音が違います。シャシャツとほうきでほこりを掃き出し、ギュッと固く絞つたぞうきんでキューっと拭きあげる。畳もなんだかうれしそう。

掃除機では味わえない爽快感、

音を楽しめるのもいいところ。

新聞紙のインクがいい具合にきれいにしてくれるとか。もともといらなくなつた新聞紙で窓を磨いてピッカピカ！なんてちょっと得した気分になりそう。ふだん見ないふりをしている隅々まで磨いちやいましょう。

磨き上げられた窓ガラスは、ガラス 자체はもちろんガラス越しの風景も一段とキレイに輝いて見えます。心も窓もなんだか輝くような気分になるはず。

「晴れた日はエコ掃除」が合言葉！お部屋も心も晴れ晴れと気持ちのいい春をスタートしたいですね。



えだひろ じゅんこ
環境ジャーナリスト、翻訳家。
東京大学大学院修士課程修了。(有)イーズ代表(<http://www.es-inc.jp/>)、(有)チェンジ・エージェント会長、NGOジャパン・フォー・サステナビリティ(JFS)共同代表。東京大学人工物工学研究センター客員研究員、環境ビジネスウィメン懇談会メンバーなどを務めるほか、執筆、講演、翻訳などを通じて環境問題を取り組んでいる。著書に『地球のおし方』『地球とわたしをゆるめる暮らし』、訳書に『不都合な真実』『私たちの選択』などがある。

